

## 1 概要

データ主導時代においては、データの収集・分析の可否が企業活動を大きく左右する状況となっており、規模の経済やネットワークの外部性が働きやすいデータ流通の市場環境の中で、関連する産業の競争力のあり方が課題となっている。

このような状況を踏まえ、2030年代に向けた未来ビジョンの検討を行っている情報通信審議会「IoT時代の未来づくり検討委員会」の「産業・地域づくりWG」に「データ主導時代の産業政策SWG」を新たに設け、データ流通市場における競争状況の実態把握、データ流通のセキュリティ確保、競争力強化のあり方などについて論点整理を行う。

## 2 主な論点

- (1) 規模の経済やネットワーク外部性が強く影響するデータ関連市場において、独占・寡占による市場集中をどう考えるか。
- (2) 情報システムのクラウド化への移行が加速する中で、寡占化の進むクラウド市場における競争をどう考えるか。
- (3) サイバーセキュリティや個人情報保護の観点から、データ流通のグローバル化において担保すべき事項は何か。
- (4) データ主導時代の新たな社会インフラとして確保すべき事項は何か。
- (5) その他、データ主導時代における競争政策上の留意事項(税制、人材、言語等)は何か。
- (6) 以上を踏まえ、データ主導時代に日本が目指すべき国際戦略は何か。

## 3 検討スケジュール

4月25日(水)14時-16時	第1回SWG(以後、3回程度開催)
6月上旬	SWG取りまとめ(論点整理)
6月11日(月)14時半-16時半	第5回産業・地域づくりWGにて、SWG取りまとめを報告

## 4 メンバー(予定)

主査	谷川 史郎	東京藝術大学客員教授	オブザーバ	シンクタンク、クラウド事業者、インターネット事業者、ベンチャー等
	生貝 直人	東洋大学経済学部総合政策学科准教授		
	神武 直彦	慶応義塾大学大学院教授		内閣官房IT総合戦略室、内閣サイバーセキュリティセンター、
	越塚 登	東京大学大学院情報学環教授		個人情報保護委員会、公正取引委員会、経済産業省
	宍戸 常寿	東京大学大学院法学政治学研究科教授		
	砂田 薫	国際大学GLOCOM主幹研究員		
	高木 聡一郎	国際大学GLOCOM准教授	事務局	総務省情報流通行政局情報通信政策課
	林 秀弥	名古屋大学大学院法学研究科教授		
	森 亮二	英知法律事務所 弁護士		

# 【参考】 情報通信審議会における2030年代に向けた未来ビジョンの検討体制

## 情報通信審議会

### IoT新時代の未来づくり検討委員会

【村井純主査】

#### 【検討項目】

- (1) 2020年以降に人口減少社会がさらに進行する中で、日本が直面する課題の現状認識をICT分野を超えて前広に整理。
- (2) IoT・AI・ロボットなど2030～2040年頃の新時代を展望し、イノベーションにより将来起こりうる未来イメージを制作。
- (3) WG報告を踏まえつつ、未来イメージから逆算する形で、日本の歩むべき道を支えるための情報通信政策のあり方を検討。

政策アイデアの寄与

未来イメージの提案

ベンチャー経営者等による「先駆的ICTに関する懇談会」



省内若手による「未来デザインチーム」

### 産業・地域づくりWG 【森川博之主任】

IoT・AI・ロボットなどのイノベーションの成果を「産業」や「地域」の隅々まで浸透させることを通じて、

- ・ 2020年以降の本格的な人口減少・高齢化社会において生じうるさまざまな課題解決
- ・ ICT産業の競争力向上や経済・地域社会の持続的な発展のために取り組むべき情報通信政策の在り方を検討

### 人づくりWG 【安念潤司主任】

IoT・AI・ロボット等が日常生活、職場や公共空間に広く浸透する時代を見据え、

- ・ こうした時代に求められる人材を育成するための教育の在り方
- ・ 高齢者・障害者に対するICT利活用支援策等に関して検討

### データ主導時代の産業政策SWG

データ主導時代における競争状況の実態把握、データ流通のセキュリティ確保、競争力強化のあり方などについて検討

### 高齢者SWG

高齢者に対するICT利活用支援策等に関して専門的に検討

### 障害者SWG

障害者に対するICT利活用支援策等に関して専門的に検討

新たに設置